

2019年12月19日

甲南大学地域連携ポリシー

甲南大学

大学の使命には、「教育」「研究」に加えて「地域貢献」がある。大学は、その知的資源や学生・教職員の力を活用し、地域の活性化や地域創生に取り組むことを社会から求められている。それを実現するためには大学が地域と安定した連携協力関係を構築することが必要である。

学園創設者である平生鈆三郎が唱えた共働互助の理念に従い、神戸・岡本にはじまり、地域と共に歩んできた。在學生は兵庫県域を中心としながらも各地から集い、卒業生は幅広い地域で活躍している。「人物教育率先」を謳う本学は、地域連携に取り組むなかで、次代を担う社会人を育成することを目指したい。

本学の特長を生かし地域連携に取り組むために、甲南大学地域連携ポリシーを以下のとおり定める。

(互惠的連携関係)

1. 「共働互助」の理念にもとづき、大学と地域とが相互に実りある関係を構築することを目指す。

(地域創生への貢献)

2. 本学が培ってきた人的・知的資源を活用し、地域のニーズを把握して、地域の課題解決や活性化等に取り組み、地域創生に積極的に貢献する。

(連携する地域)

3. 本学の近隣にとどまらず、在學生の居住地域や出身地域、および卒業生の活躍する地域との連携を目指す。

(各地域における連携先)

4. 各地域の自治体に限らず、地域で活動する団体等とも連携し、相互に実りある関係を構築する。

(人物教育の重視)

5. 地域貢献に取り組むなかで次代を担う社会人を育成することを目指し、学生の地域連携活動への参加を促す。

(生涯学習)

6. リカレント教育や公開講座等を通じ、教養の充実や地域の活性化に資する生涯学習の拠点としての役割を果たす。

(情報公開)

7. 地域連携の推進にあたり、透明性を持った運営を行うとともに情報公開につとめ、説明責任を果たす。